

令和2年6月1日

各都道府県連盟会長、団体代表者 様
関係各位

全国へき地教育研究連盟
会長 柿崎 秀顕
第69回全国へき地教育研究大会富山大会
実行委員長 新夕 真希夫

第69回全国へき地教育研究大会富山大会について

日頃より本連盟の活動についてご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、本年4月中旬に、全国大会富山大会実行委員会からの大会内容変更の上申を受け、主催者である文部科学省との意見交換、並びに各ブロック理事の意見を踏まえ、標記大会の開催について以下のように決定しましたのでお知らせいたします。

第69回全国へき地教育研究大会富山大会は、例年の参集型研究大会は行わず、形式を変え「紙面発表大会」として行う。

富山大会実行委員会では、総意として下記の事由により適正に判断を行い、断腸の思いで通常開催中止・紙面発表大会への変更との結論を下しました。全国へき地教育研究連盟においても主催者側である文部科学省と相談の上、同様の判断を行い通常開催中止・紙面発表大会への変更を決定いたしました。

富山大会においては、実行委員会を中心にこれまで2年以上にわたって開催に向けての準備を進めてきました。全国の発表予定都道府県も発表に向けて真摯な取組や研究実践を積み上げてきています。そこで、富山大会は敢えて「中止」ではなく、大会紀要等で研究成果を交流する「紙面発表大会」という形式で実施いたします。

趣旨をご理解いただいた上で、全会員に周知の程、よろしく願いいたします。

<富山大会実行委員会からの「大会内容の変更」の上申より>

1 事由

- ① 新型コロナウイルス感染拡大が続いており、政府から「緊急事態宣言」が全国に発令され、不要不急の外出やイベント等の自粛、「3密」を避ける対応等が要請されている。感染者は拡大の一途をたどり、収束の見通しは全く立っていない。
- ② 東京オリンピックの延期をはじめ、全国各地での各種イベントや集会も軒並み中止や延期となっている。地域によっては学校の臨時休校も続いている。その中には今大会発表予定校も多くあり、発表に向けての最終準備が行えない。
- ③ こうした状況で、教育公務員管理職であり各学校の最高責任者である学校長が、多人数が集まり濃厚接触が明らかな「参集型全国大会」を開催することは、強く非難されるだけでなく、万が一大会参加者から感染者が出た場合は、同席者等多数の方々に2週間の自宅待機や隔離など、多大な迷惑や被害を及ぼすことになる。
- ④ 全国大会には主催の文部科学省、また各都道府県教育委員会をはじめ多くの関係諸団体から後援を受けている。これら団体から中止要請を受ける前に、当事者として中止の決定をすべきである。

2 事後の対応

- ② 全国大会富山大会は「紙面発表大会」とする。
- ② 「大会要項」「大会紀要」を編集・作成し、全国へき地教育研究連盟加盟校に配布し、研究成果の共有を図る。また、紀要は全へき連会員ホームページにも掲載する。